

2017年3月度(第76期)中間仮決算ダイジェスト

■売上高

20,472百万円

売上高は、前年同期比2,237百万円増加の20,472百万円となった。3月実質完成物件が前年同期と比べ1,782百万円増加した為。

■営業利益

2,529百万円

■経常利益

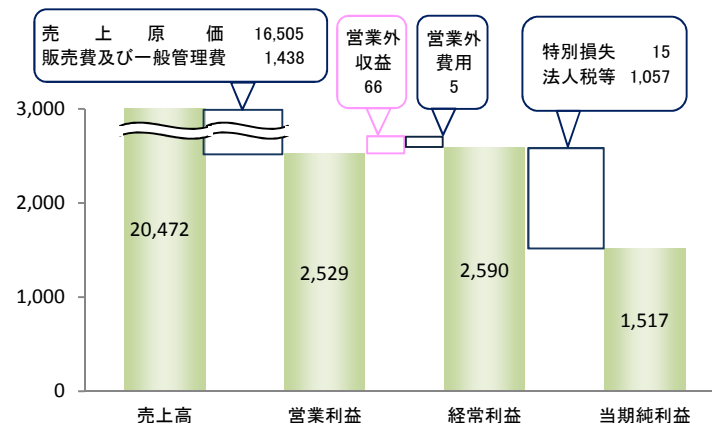
2,590百万円

■当期純利益

1,517百万円

損益計算書の概要

(単位:百万円)



利益は、売上高の増加及び工事の採算を改善した結果、営業利益で2,529百万円(前年同期比958百万円増)、経常利益は2,590百万円(前年同期比946百万円増)、当期純利益で1,517百万円(前年同期比628百万円増)となった。

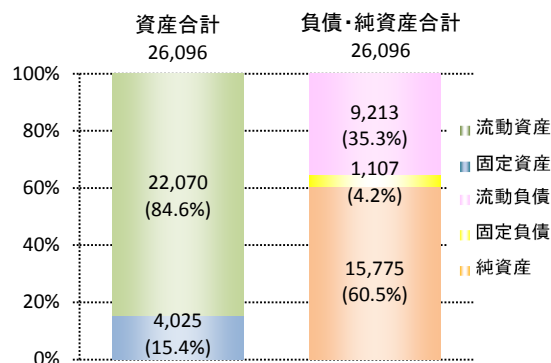
■自己資本比率

60.5%

自己資本比率は60.5%(前年末比0.6%増)となった。総資産の残高は26,096百万円(前年末比2,000百万円増)となった。主因として、売上債権が増加した為である。負債の残高は10,321百万円(前年末比609百万円増)となった。主因として、仕入債務が増加した為である。純資産は15,775百万円と前年末と比べ1,390百万円増加している。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



■キャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に売上債権の増加によって資金が減少となった。
 「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に保有債券の償還により資金が増加となった。
 「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に配当金支払により資金が減少となった。
 結果、前期末より584百万円資金が減少となった。

現金及び同等物 第75期 期末残高	営業活動CF	投資活動CF	財務活動CF	現金及び同等物 第76期 3月期残高
6,090	▲ 821	436	▲ 199	5,505

(単位:百万円)

■通期予測

第76期の本決算は、前期よりの繰越工事の増加により、売上高は4,015百万円増加の42,299百万円となり、利益は手持工事の原価率の改善及び選別受注の結果、営業利益は2,911百万円、経常利益は3,020百万円、当期純利益は、1,743百万円となる見込です。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
42,299	2,911	3,020	1,743

(単位:百万円)